

パイオニア株式会社
コールバーグ・クラビス・ロバーツ・アンド・カンパニー・エルピー

パイオニア株式会社とKKRによる パイオニア DJ株式会社(仮称)の株式譲渡契約締結に関するお知らせ — DJ機器事業への外部資本導入によるグローバル展開の加速 —

パイオニア株式会社(以下「パイオニア」とコールバーグ・クラビス・ロバーツ・アンド・カンパニー・エルピー(関連企業その他の関連組織を含めて、以下「KKR」))は、本日、パイオニアのDJ機器の開発・製造・販売に関する事業(以下「DJ機器事業」)を会社分割の手法で切り出すことにより新たに設立されるパイオニアDJ株式会社(仮称)(以下「パイオニアDJ」)について、株式譲渡契約を締結し、両社がパイオニアDJの株主となることに合意しました。

今回の合意に基づき、KKRは、持株会社となるPDJホールディングス株式会社(以下「PDJHD」)を通じて、パイオニアDJの発行済株式の全てを約590億円で取得します。パイオニアは、PDJHDの第三者割当増資を引き受け、一連の取引を通じて、KKRがPDJHDの株式の85.05%を、パイオニアが株式の14.95%を保有することになります。

パイオニアのDJ機器事業は、DJ向けCDプレーヤーやミキサー、コントローラー、ヘッドフォン、スピーカー等のDJ機器の開発・製造・販売を行っており、圧倒的なブランド力と技術力、収益力を誇る同事業の商品は、世界中のトッププロDJおよびアマチュアDJに幅広く愛用されており、DJ機器市場において抜群の認知度とマーケットシェアを有しております。

パイオニアとKKRは、それぞれの持つ経営資源、強固なブランド力や技術力、グローバルでのテクノロジー／メディア業界における投資経験やネットワークを活用し、パイオニアDJの更なる成長を目指していきます。

パイオニアの代表取締役 兼 社長執行役員である小谷 進は、本件に関し次のように述べています。「当社は、カーエレクトロニクス事業への経営資源の集中を加速させる中、DJ 機器事業の更なるグローバル展開とブランドの拡大を目指すため、最適な外部パートナー選定を進めてまいりましたが、この度、KKR との間で同事業の譲渡契約の締結に至りました。KKR はグローバルに活動するファンドとして、テクノロジー／メディア業界においても豊富な投資経験を誇り、今後のパイオニア DJ の更なる飛躍を実現するためにKKR の知見を活かすことができると期待しております。当社も、引き続きパイオニア DJ の 14.95%の議決権を保有するパートナーとして、同社の成長のための協力体制を維持していく所存でございます。」

株式会社KKRジャパンの代表取締役社長である平野 博文は、本件に関し次のように述べています。「パイオニアDJは、グローバルDJ機器市場において、強固なブランド力と市場ニーズを捉えた商品開発力に裏付けられた、市場における圧倒的な地位を築いており、正にDJ業界における『パイオニア』として市場を創造してきた実績を有しております。今後KKRが、パイオニアDJの革新的な経営陣・従業員の方々および共同株主のパイオニアと協働することにより、長期にわたって更なる成長を支援していきたいと考えております。」

パイオニアの執行役員 兼 プロSV事業部長である井出 良明は、本件に関し次のように述べています。「グローバルに投資を展開し、テクノロジー／メディア業界を含む様々な事業会社の成長を支援しているKKRからの出資を受け入れることにより、当社の更なる成長を実現することができると考えています。KKR

の支援のもと、今後も顧客の期待を超えた商品やサービスの開発を加速させ、更なる顧客価値の向上に努めて参ります。なお、パイオニアには引き続き主要株主として当社をサポートしていただきます。」

本取引は、関係当局の承認等を前提として、2015年3月までに完了する見込みです。

留意事項

本プレスリリースには将来予想に関する記述が含まれます。将来予想に関する記述は、期待、確信、予測、将来計画及び戦略、予期される事象又は動向並びにこれらに類似した歴史的事実ではない事項に関する表現に関係しています。このような将来予想に関する記述には、当該取引の条件が変更されるリスク、当該取引が全く完了しないリスク、又は当該取引による利益やシナジーが実現しないリスクが含まれています。将来予想に関する記述は、本プレスリリースに記載された当事者の確信、推測及び期待に基づいており、当該当事者にとって現在入手可能な全ての情報を考慮しています。これらの確信、推測及び期待は、多くの起こりうる事象又は要素によって変わる場合がありますが、当事者は当該事象又は要素の全てを知り又は支配するものではありません。いずれの当事者も、法令により義務付けられる場合を除き、将来予想に関する記述が作成された日の後に生じた状況又は事象を反映するために当該記述を更新する義務を一切負いません。

パイオニア株式会社について

1938年に創業されたパイオニア株式会社は、コンシューマー向け、プロフェッショナル向けのエレクトロニクス製品のグローバルリーディングメーカーです。「より多くの人と、感動を」という企業理念のもと、カーエレクトロニクス、ホームエレクトロニクス、その他の事業において、数々の「世界初」の製品やサービスでお客様に新しい価値を提供しています。また、有機EL照明や医療・健康機器関連の開発を進めています。パイオニア株式会社は、東京証券取引所1部に上場しています。URL: <http://pioneer.jp/>

KKRについて

1976年に設立されたコールバーグ・クラビス・ロバーツ(KKR)は、ヘンリー・クラビスとジョージ・ロバーツが率いる世界有数の資産運用会社です。2014年6月末時点で979億米ドルの運用資産を保有しています。KKRは世界各地に拠点を構え、様々な資産クラスを網羅する多様な投資ファンドを通して資産運用を行っています。KKR & Co. L.P.はニューヨーク証券取引所に上場(NYSE:KKR)しています。

URL: <http://japan.kkr.com/>

本件に関するお問い合わせ先:

パイオニア株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報課

電話: 044-580-1003

KKR

アシュトン・コンサルティング

電話: 03-5425-7220 mail: KKRJapanPR@ashton.jp